

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援室		公表日		令和 7年 3月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・活動内容によって机や椅子の配置を変えたり、スペースを確保するようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・国で定められた基準に沿って、適切な職員数を配置している。	・利用対象が低年齢なこともあり、環境や教室に慣れるまでは手厚い支援体制を整えていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・視覚的ツールを活用したり、利用人数・活動に応じてパーティションで空間を仕切るなどの環境設定や構造化をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・教室後には清掃や消毒をしている。 ・活動内容に応じて環境設定を工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・クールダウンのスペースとして廊下や空いている部屋を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・毎回の教室後に職員同士でカンファレンスを実施している。 ・業務改善については必要に応じて検討している。	・カンファレンスに出ていない職員にも、支援の共通理解を図れるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日々の教室や評価表などを通し、保護者からご意見をいただき、改善に努めている。	・今後もご意見やご意向などを十分に把握し、真摯に対応していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・日頃から業務内容や取り組みに関しては話をしながら進めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・利用者評価や事業所評価は評議委員会に提出している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部の研修会に参加したり、事業所内でも学習会を開き、職員の資質向上に努めている。	・今後も事業所内での定期的な学習会の開催や、研修会の参加を行うことで、職員の資質向上を図りたい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・事業所内の職員と意見を出し合い、支援プログラムを作成した。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントを行い、お子さんと保護者のニーズを踏まえた児童発達支援計画を年2回作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・サービス担当者会議や個別支援会議を開催し、課題の分析・評価を行い、支援計画に反映させている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・1人ひとりのお子さんの課題を共通認識し、支援計画に沿った支援を心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・フォーマルアセスメントツールは使用していない。面談時は事業所で作成したアセスメントツールを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・子ども一人ひとりの発達や育ちの環境を支援するために必要な項目「発達支援」「家族支援」「地域支援」をお子さんの状況や発達段階に合わせて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・チーム全体で、お子さんが興味・関心を持てるような活動プログラムを立案・提供している。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・言語聴覚士や作業療法士の専門職の充実に も助言をいただき、活動内容を工夫してい る。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・1回の活動で、個別活動（机上の課題）と 集団活動の両方を取り入れ、一人ひとりの課 題に応じて支援を行っている。定期的にお子 さんの評価を行い、児童発達支援計画につな げている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・教室開始前は必ず打ち合わせを行い、支援 内容や役割分担の確認、共通認識のもと支援 を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・教室終了後にはカンファレンスを行い、反 省点や改善する箇所などを共有し、より良い 支援ができるよう努めている。 ・教室前日や当日にはカンファレンスや記録 を見直し、対応などを確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	6	0	・一人ひとりの療育記録を作成している。保 護者からのコメントを職員で共有し、支援の 検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・年に2回モニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しをしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者や担当職員、相談 支援専門員が会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・保健センター、協力医療機関等、必要に応 じて連携できる体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	4	2	・保護者の了承のもと、お子さんの在籍園や 移行先とは必要に応じて訪問や見学など、情 報共有する機会を設けている。インクルー ジョンの観点から、地域での過ごし方につい ても支援している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・就学の移行については関係機関と情報を共 有しながら、相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・同法人内に児童発達支援センターがある 為、連携を取りやすい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど もと活動する機会があるか。	0	6	・利用児は保育所やこども園、幼稚園に在籍 している為、事業所としては交流などは行っ ていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	6	0	・教室後に振り返りの時間を設けたり、電話 やメールでも相談を受け付けている。定期的 な面談の中で、子どもたちの課題や今後の支 援方法について確認している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	5	1	・ペアレントトレーニングや保護者向けの学 習会などについては掲示板でお知らせしてい る。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	5	1	・契約時に分かりやすく丁寧な説明を心掛け ている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・アセスメントの中でお子さんと保護者のニーズを確認した上で、支援計画を作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・1人ひとりのニーズや課題を整理し、作成した支援計画を保護者に説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて個別相談で対応している。職員間や相談員と連携し、迅速に対応できるように努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	父母の会等の保護者会は開催していない。	・保護者同士の交流やつながりを求める意見が多くあり、今後検討していくべき点である。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者の方からの相談の申し入れがあった場合は、面談日を設定したり、電話やメールでも迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			・会報などは作成していないが、活動内容やねらいを記載した記録用紙を配付している。 ・土曜教室や行事等は掲示したり、メール配信など行っている。	・ホームページの充実やSNSの活用もしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報に該当する書類などは、鍵付きのロッカーや倉庫で管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・視覚的支援ツールを使用することで、意思の疎通を図ることができるようにしている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・保護者のニーズを確認しながら、必要に応じて検討していきたい。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・各種マニュアルを策定し、非常災害に備えてお子さんや保護者の方がいることを想定した訓練を行っている。	・保護者の方に分かりやすくお伝えできるように努めていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・非常災害への備蓄品は定期的に見直し、管理している。 ・訓練については今後、実施予定である。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者とのアセスメントの中で確認し、職員に周知し、それぞれのお子さんに合わせた配慮をしている。 ・母子療育である為、医療行為については保護者の方に対応してもらっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画を作成し、定期的に研修会や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全や保健に関するお知らせを配付、掲示して周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットの事例の共有と対策を話し合い、未然に防ぐようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止委員会を設置し、フローチャートの作成や研修会を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・契約時に身体拘束について説明を行い、必要な保護者から同意を得ている。また、支援計画にも記載している。		